



# 大銀杏

喜多方市立慶徳小学校 学校だより  
令和2年9月18日(金)第30号  
発行責任者 校長 石田 秀喜

【教育目標】 ■かんがえる子 ■おもいやりのある子 ■たくましい子

## 「ほめる言葉 叱る言葉」

たとえば、人をほめるときや叱るとき、どのような言葉がいいか悩むときがあります。もちろん、その状況や相手によってちがうかもしれません。

ただ、次のような言葉は、どうでしょうか。

ほめたいときは 「さすがだね。」

叱るときは、 「あなたらしくないね。」

この言葉には、自分はいつも認められ期待されているという気持ちがこめられています。これが逆に、いいことをしても、「君にしてはめずらしいなあ。」と言われたり、失敗したとき「やっぱりなあ。」と言われたら、もうがんばる気にはならないかもしれません。

フランスでは、子どものよいところを見つけてほめるのがモットーだそうです。

「君は字がうまい。」「あなたは、話が上手。」そして、教室の片隅で黙っている子どもにさえ、「君は、聞き上手の優等生」と。 “愛語に回天の力あり”

やる気を起こさせる言葉をいつも用意しておきたいものです。



## 素敵なマスクをいただきました・・・

去る11日(金)に、慶徳地区の「ぬいものあそびサークル」の皆様が来校され、子どもたちと本校職員のためにと、素敵なマスクを寄贈してくださいました。児童会保健委員会委員長の大関さんと同副委員長の大竹さんが児童代表で受け取りました。今日の全校朝の会で、改めて子どもたちの披露し、担任を通して児童一人一人に配付しました。心のこもった素敵なマスクを大切に使用させていただきます。本当にありがとうございました。(福島民報、福島民友にも載りました。)



## SDGs (エス ティー ジーズ) を 児童会活動に生かす!!



今日の全校集会で、児童会代表委員会から後期の児童会活動の計画についての発表があり、それぞれの委員会の活動内容をSDGsの視点で見直し、その理念を意識しながら活動していくことを全校生に伝えてくれました。

これに先立って、本校の6年生がちょうど17名ということで、SDGsの17の目標に対して、一人1つの「目標」について詳しく調べる活動をし、小学生の自分たちにできることは何かについて考えてきました。これまで自分たちが家庭や学校生活の中で取り組んできたことをSDGsの視点で見直し、今回の児童会活動の提案につながりました。

環境問題や様々な社会問題などが今後ますます深刻化していく中、持続可能な社会を創っていくために行動を起こしていくことの大切さを具体的な活動を通して、子どもたちに身に付けさせていきます。

★「SDGs」の詳しい説明は、「広報きたかた9月号」をご覧ください。